

第89号
BenHouse
編集 尾上大輔
姫路市南条637
TEL:079-222-5500
www.benhouse.co.jp
バックNO. は上記WEBで

「南ドイツ列車の旅」 個人旅行編

娘のプレゼンで親子3人南ドイツのロマンチック街道へ行ってきました。個人旅行なのであまりませんが、大ちゃん一向に動がず、娘にまかせつきり。実は仕事を休んで行くのが嫌なのである。できれば行きたくないモイドかな。5時自宅出発、一路伊丹へ、きわどく成田への便に乗る。これに乗れないと羽田経由でやばいところだった。これはツイてる。全日空で一路フランクフルトへ、到着は夕方3時ころ、空港から電車です。車です。トクフルト駅へ、改札はななくフリーで直接ホムへ、券売機が一つ、ドイツ語なので全然わからない。どちら向きに乗るかも不安で一本見送る。なんと大の大人が電車の切符も買えずに電車にも乗れん。そのうち娘が見よう見まねで3



枚買う。なんとがフランクフルト駅到着です。もちろん改札はない、切符を皆さん本当に買ってるんやろか？電車の中で時々車掌さんが回ってくるそうです。電車にはSバーン（近郊電車）Uバーン（地下鉄）IC（遠距離）ICE（新幹線）路面電車があり、鉄道交通は非常に発達している。それにバス、タクシー、自転車、交通網は非常に合理的ですばらしい。これから一週間この鉄道を乗り回しての家族旅行どうなることやら。翌日、一番に緑の窓口ハユーロレイルパス4日間なるものを3枚買う。新幹線を含めてなんでも乗れるそうである。次に赤い自販機に行き、英語に切り替え、行き先を入力すると、時間、電車、番線、乗換を含めたシート（Yahooの乗換案内の様な）を無料でプリントできる。ナイスである。これなら駅員さんに聞かなくても行けるようだ。娘は航空会社に勤めているので

交通関係の英語に強い。娘は調査と交渉（英語）、父お金を払う、母荷物（英語）の番をする。今後一週間の親子3人の役目が決まった。観光一日目はハイデルベルグへ電車を出発、乗換1回。トランク3個を駅のコインロッカーへ、ふたを閉めるとなんと鍵がかかるじやない。後でお金を払うのかな？なんていい調子でタクシーでハイデルベルグ城へ。お城の観光をしてから、町のカフェでランチ。娘「ウエイターのおにいさんイケメンやわく」とか、奥「モアードイシユプリーズ。」



（取り皿頂戴）のお答えが、同じ料理がもう一皿。ヒエーである。英語は難しい、日本語なら雰囲気理解するのだが、ドイツ人と英語で話すとき間違いが起こる。それでイケメンウエイターさんもおかしな顔をして注文聞いたのが、勉強勉強。そんな折、中国人のおじさん3人組が。あなた達を探してましたよ、駅でコインロッカーに入れたでしょう。鍵閉まってないですよ。ドアが半開きです。はやく戻ったほうがいいですよ。ガビーンである。荷物がなくなっちゃったら、あとどうしよう。とは言うものの、食事はちゃんとやらなくちゃね。タクシード

キドキンしながら駅へ戻る。なんと、無事でありました。日本ならどうもないかと思いますが、ドイツも治安が良い。ロッカーはふたを閉めると3分くらい仮閉まりして、セクターコントロールのところNO.を入力してお金を入れて初めてちゃんと閉まるそうです。それをしないと、その後半開きに戻ってしまうんです。知らない怖いことしちゃいますね。治安の悪いところでしたら一こころでしたね。くわばらくわばら。気を取り直してICEでミュンヘンへ、ホテルへ荷物を置いてさつそく、一番有名なビアハウスへホフハウスへ、混んでいたの入り口で3人。なん

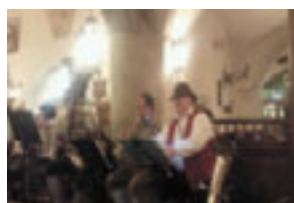


て言うこと、ウエイターさん不思議そうに肩をすくめた。空いたところへ座るのが普通やん。なんて思ったのかな。ここは世界からの観光客でいっぱいなんです。ビールはともかく、バンドも入って、お客さんが一体になって飲める。ここはぜひ行こう。3日は車でフツセンへ帰り、有名なのはイシユヴァンシュタイン城へ

キドキンしながら駅へ戻る。なんと、無事でありました。日本ならどうもないかと思いますが、ドイツも治安が良い。ロッカーはふたを閉めると3分くらい仮閉まりして、セクターコントロールのところNO.を入力してお金を入れて初めてちゃんと閉まるそうです。それをしないと、その後半開きに戻ってしまうんです。知らない怖いことしちゃいますね。治安の悪いところでしたら一こころでしたね。くわばらくわばら。気を取り直してICEでミュンヘンへ、ホテルへ荷物を置いてさつそく、一番有名なビアハウスへホフハウスへ、混んでいたの入り口で3人。なん



て言うこと、ウエイターさん不思議そうに肩をすくめた。空いたところへ座るのが普通やん。なんて思ったのかな。ここは世界からの観光客でいっぱいなんです。ビールはともかく、バンドも入って、お客さんが一体になって飲める。ここはぜひ行こう。3日は車でフツセンへ帰り、有名なのはイシユヴァンシュタイン城へ



向かう。世界的に有名な城だが、なにぶん打越あたりで見慣れている、建築も明治元年位である。ちよつとしたコンクリート製の近代建築です。バイエルン王が趣味で世界一美しく作った城と思つてください。歴史とか防衛上の役目はなかった。モニュメントが、豪華な別荘がなつてした。その後バイエルン王はお金を浪費しすぎて破産者として統治者の座を奪われ、謎の自殺をしてしまったという、悲しいお城でもあります。



シユタイン城の観光も終わり、4時、わがまま娘が世界遺産のヴュース教会へ行きたいとわめていて。調べるよとバスで40分くらいだそう。ちよつとそのバスが来たので大胆に乗つてしまった。バスは最初地元の子供たちで満員であったが、一人減り二人減り、最後は家族三人に、どんどん田舎のほうへ進んでいく。乗るときに運転手が「ラストバス」と、言つてたのが気になりだした。今度は山の中へ向かつていく。ついに「草原の中の美しい教会、ピュース教会到着です。」タクシーなんが一台もない。土産物屋さんで3軒、ペンションが1軒、日も暮れてきました。電車の駅まで15キロ、ここで泊りになつ

てしまふのか？ そんなハラハラをよそに後の大胆な二人はねつちりと教会に見入つて。イン帳に投稿までしている。大ちゃんはこのと、夕方までまばらになつた観光客の中に、日本人カッパル発見。『どうやって帰るの？』『はつ、ツアーですからからバスに乗つて帰りますよ。』『ヤリです。』土産物屋も店じまいしかけた駐車場へ行くと、観光バスが、なんと添乗員は日本人つばい。これはラツキー、娘に作戦を指示していざ開始です。『ここにちは、このバスどこへ行くんですか？』『フツセンですよ。』『ひえ、最高やん。』『あととはわいく交渉です。なんと全日空のツアー会社です。大きなバスに10人しか乗つてない。』『乗せてく。』『路線バスで来たんです。』『結構大胆です。』『世界遺産といえども、こちらでは結構へんび所も多いです。ここで同胞を見捨てるわけにはいきませんよ。』『と、乗せていただきます。』『い、いやありがたいです。』『タクシーを呼んでもらう手もあつたが、なにせ15キロで100ユーロしか持つてなかつたので結構不安でした。』『めでたしめでたし。』翌日はミューンヘンからロマンティック街道をめぐるヨロツクバスでローテンブル



グへ。このバス、トイレが故障していた。ドイツでは無料公衆トイレはまれで、50ユーロの有料です。これでもあればありがたいのですが、休憩中継の町では、まずトイレ探しがい一番です。だからビールも飲んでいられないのが残念でした。中世の町ローテンブルグで一泊して、翌日はフランクフルトへ、最終日はメインイベントのライン下りです。電車で1時間40分、リューデンハイム着、7分後に最終船の出発です。タクシーに乗れば間にあうと思つてましたが、ドイツは甘くない、親子3人800mの全力駆け足でなんとが間に合う。一着55歳大ちゃん、二着27歳娘、ベベは55歳奥。船に乗ると最高、長年の夢が叶つた感、ライン下りでローレイの曲を聞きながら甲板でワインを飲む。やつぱりドイツはこれが最高ですよ。でもけつしてローレイ像に期待しないこと、もちろん見えないけど、世界の三大がつかりの一つでした。雰囲気、無事ライン下りも終わり、なんてツイてるんでしょ。僕たち、後は空港から22時の全日空に空席待ちで乗れば完璧。壁完壁。空港へ2時間前に到着。余裕余裕。本日は満席だそう。キャンセルを5人待ちである。ツイてるから大丈夫なんて思つ



て、正規予約者が乗つていくのを待つ。出発5分前に尾上さんのグループ、2人乗れますがどうされます。えつ、一瞬頭真っ白。『じゃー二人お願いします。』と、いつて娘と奥を見送る。『毎日出てくるので、また明日同じ時間に来ればいいが。』翌日も翌日も満員らしいが。空席待ち格安航空券は厳しいなあ。なんか空港の中から出られなくなつた男の人の映画が目につかんできた。2回目の入国手続きをして、ポツンと出てきたトランクを引取り、大ちゃん空港からフランクフルトの町へ引き返す。翌日はフランクフルトの町をくまなく探索する。なんが出張ビジネスマンの様です。今日も同じく22時発の空席待ちに空港へ出勤、出発5分前、尾上さん今日もタメでした。と、言われまた荷物を持つてフルクトの町へ、これで追加の観光は2日目か、もうフルクトフルトは全部見てしました。翌日は朝から空港出勤、格安航空券を探す。エジプト航空カイロ経由の閑空行、最高やん。800ユーロです。まーいいが、今日帰れば何食わぬ顔で月曜日出勤できるか？ 社長はつらい。で、エジプト土産があつたので、皆さん。まーこれ以上空港でのお見送りも精神上よくないが、潮時潮時。

